

達成度：H25.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

財政課の目標（平成24年度）自己評価書

財政課長 京 増 孝 一

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 行財政改革の推進</p> <p>(1) 財政健全化の推進</p> <p>財政の健全化を図ることが重要であることから、全体事業を見直しながら、簡素で効率の良い予算執行を指導します。</p> <p>予算編成に当たっては、酒々井町財政健全化緊急対策計画を見直し、現状を把握しながら歳出の削減と歳入の確保に努め、財政の健全化に努めます。</p> <p>(2) 新地方公会計制度の取組</p> <p>自治体の財政状況を総合的かつ長期的に把握するため、新たな地方公会計制度によるバランスシートを主とした財務諸表の整備を進めます。</p> <p>(3) 公有財産の管理</p> <p>公有財産の拠点として重要な役場庁舎を震災対応や利便性の向上を図るため、耐震補強並びにエレベーター設置のための設計業務を実施するとともに、既存施設の見直しを図り機能維持に努めます。</p> <p>また、省エネ対策として監視システムの導入を図り、電気使用量の抑制に努めます。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>財政健全化については、酒々井町財政健全化緊急対策計画の見直しや予算編成並びに予算執行を通して全課にわたり削減や節約をすることができました。また、国による「経済対策」や「緊急雇用対策」などによる交付金の活用とともに交付税措置のある起債を利用することで一般財源の支出を抑えることができました。</p> <p>平成12年度決算から作成していた「総務省方式」に変え、平成22年度決算からは、新たな地方会計制度に対応した「総務省方式改定モデル」による財務諸表4表中の2表分を作成しましたが、23年度決算分については、本年5月を目途に作成中です。</p> <p>当初の計画どおり、役場庁舎の耐震補強設計及び大規模改造実施設計業務を実施し、災害対策本部としての機能の維持と来庁者への安全性の向上に向けた取り組みを行いました。</p> <p>また、電力監視システムを導入し、最大需要電力の抑制を図りました。</p>

<p>(4) 契約制度改革の推進</p> <p>入札及び契約については、法令等に基づき適正に推進してきたところですが、引き続き入札手続きの透明・公平性の確保、競争性の向上を図るため、電子入札の充実など推進を図ってまいります。</p>	4	建設工事及び測量・コンサルにおける入札手続きの透明・公平性の確保、競争性の向上、入札参加者の負担軽減及び入札契約事務の効率化を図るため、電子調達システムの推進及び契約関係規程等の改正作業を行いました。
---	---	--